

救急部委員会資料

2023年1月～6月の対応実績

① 3次救急対応（北大関係者含む）

消防機関からの依頼

期間	要請件数	応需件数	不応需	応需率
2023年1月	194	112	82	57.7
2023年2月	157	101	56	64.3
2023年3月	115	82	33	71.3
2023年4月	95	72	23	75.8
2023年5月	115	86	29	74.8
2023年6月	104	67	37	64.4
合計	780	520	260	66.7

不応需理由

期間	対応病床なし	別患者対応中	専門科診療不可	三次救急適応外	その他	合計
2023年1月	18	49	0	15	0	82
2023年2月	21	20	1	12	2	56
2023年3月	2	20	1	9	1	33
2023年4月	3	15	1	4	0	23
2023年5月	4	12	3	10	0	29
2023年6月	12	19	1	4	1	37
合計	60	135	7	54	4	260
割合	23.1%	51.9%	2.7%	20.8%	1.5%	

医療機関からの依頼

期間	要請件数	応需件数	不応需	応需率
2023年1月	14	7	7	50.0
2023年2月	10	6	4	60.0
2023年3月	10	6	4	60.0
2023年4月	11	4	7	36.4
2023年5月	10	8	2	80.0
2023年6月	10	4	6	40.0
合計	65	35	30	53.8

不応需理由

期間	対応病床 なし	別患者 対応中	専門科 診療不可	三次救急 適応外	合計
2023年1月	2	4	0	1	7
2023年2月	1	3	0	0	4
2023年3月	0	3	0	1	4
2023年4月	0	3	1	3	7
2023年5月	0	1	0	1	2
2023年6月	2	4	0	0	6
合計	5	18	1	6	30
割合	16.7%	60.0%	3.3%	20.0%	

コロナ禍の影響も小さくなり、5類化以降も大きな混乱はない（8/15現在）

消防機関/医療機関の集計で、3次救急適応外の分類は、依頼内容から他院での対応が可能と考えられた事案であり、他院への相談を提案し、その後、再依頼がない事案である。

他院打診後、対応先がなく再要請があった事案は、応需することが多く、応需件数の中に含まれている。

② 再来患者救急対応

診療科内訳

	患者数	入院	帰宅	自科外来へ	他科外来へ	転院	その他
呼吸器内科	24	10	12	2	0	0	0
リウマチ・腎臓内科	38	15	20	3	0	0	0
糖尿病・内分泌内科	11	8	2	0	0	0	1
消化器内科	78	39	33	3	1	1	1
循環器内科	41	17	23	1	0	0	0
血液内科	24	7	16	1	0	0	0
腫瘍内科	12	6	6	0	0	0	0
消化器外科Ⅰ	16	7	8	1	0	0	0
消外Ⅰ小児外科	11	2	8	0	0	1	0
消化器外科Ⅱ	13	4	9	0	0	0	0
心臓血管外科	4	3	1	0	0	0	0
整形外科	7	2	5	0	0	0	0
泌尿器科	28	6	22	0	0	0	0
形成外科	3	0	3	0	0	0	0
乳腺内分泌外科	1	1	0	0	0	0	0
脳神経内科	13	6	7	0	0	0	0
耳鼻咽喉科頭頸部外科	6	1	5	0	0	0	0
皮膚科	7	1	6	0	0	0	0
脳神経外科	13	6	7	0	0	0	0
婦人科	6	3	3	0	0	0	0
小児科	44	6	38	0	0	0	0
放射線治療科	1	0	1	0	0	0	0
合計	401	150	235	11	1	2	2

受診時間帯

時間帯	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時
患者数	8	12	9	5	9	7	9	16	12
割合	2%	3%	2%	1%	2%	2%	2%	4%	3%

9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
18	15	25	14	10	15	11	13	57
4%	4%	6%	3%	2%	4%	3%	3%	14%

18時	19時	20時	21時	22時	23時	合計
33	32	20	17	16	18	401
8%	8%	5%	4%	4%	4%	100%

コロナ陽性患者の搬入件数も減少し、環境消毒等の対応も簡素化されたため、看護師の負担は減少しており、ほぼ、通常に戻っていると考えられる。

③ 院内急変対応 (9999 対応)

発生部署	件数	割合
病棟	22	58%
外来	7	18%
放射線部	7	18%
その他	2	5%
合計	38	100%